様式第８号(第43条関係)

(その1)　　(表)

※火災番号　　－

不動産・動産り災申告書

申告日　　年　　月　　日

中城北中城消防本部　消防長　様

申告者　住所

氏名

電話

年　　月　　日(　　)に、り災した不動産について、次のとおり申告します。

り災物件とり災者の関係		り災物件の所在地		
占有者・管理者・所有者				
り災建物概要	名称			
	建物用途			
	建築面積	㎡	延べ面積	㎡
	構　造	造　地上　階 地下　階		
り災前建物経過	建築年月	年　月	修繕年月	年　月
	建築金額	円	修繕金額	円
□推定　□記録	購入年月	年　月	増改築年月	年　月
□記憶　□不明	購入金額	円	増改築金額	円

居住者	氏　名	年齢	性別	氏　名	年齢	性別
世帯数　世帯						
人						
り災後の連絡方法	住所名称　　話					

備考　不明な点は、記載要領をご一読ください。

（裏）

動　産（家財・その他）でり災したもの

品名	数量	り災の別	購入金額	経過年数	耐用年数	残存率	算定額
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					

（備　考）

1　この申告書は、消防法第34条によって提出を求めるものです。

2　火災によるり災証明書を発行する場合、この申告書が提出されていると早く発行することができます。

3　この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。

4　この申告書は、建物1棟ごと、世帯ごとに使用してください。

5　上記表で不足の場合には、（その2）を活用ください。

（記載要領）

1　占有者・管理者・所有者・その他（　）は、り災物件と申告者との関係であてはまるものを○で囲んでください。

2　建物の用途の欄は、住宅、店舗、倉庫、物置、作業場又は工場のように使用されている用途を記入してください。

3　り災の別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。

（1）　「焼」燃えるもの、熱で侵されたものなど

（2）　「消」消火するために、壊れたもの、濡れたもの、汚れたものなど

（3）　「爆」爆発現象により、建物の損害が発生したが焼き損害がなかったものなど

4　太枠内は、消防側が記載しますので、記入しないでください。

(その2)

動　産(家財・その他)でり災したもの

品名	数量	り災の別	購入金額	経　過 年数	耐　用 年数	残存率	査定額
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					